

# 2026年度 学校推薦型選抜（一般推薦）実施内容

会津大学短期大学部 幼児教育・福祉学科

本学科では以下の内容で2026年度の選考を実施しましたので、参考にしてください。

## 記

### 【小論文】

【出題の内容とねらい】

本題は、幼児教育を利用する子どもたち、および社会福祉を利用する利用者が抱えている「ふつう」という偏見により生じうる困難という社会的課題に対して、本学科のアドミッション・ポリシーに記した、

1. 子どもをはじめ、すべての人々を取り巻く環境の変化や諸問題を理解する基礎学力があり、自ら学び考える人
2. 子どもをはじめ、すべての人々の個々の尊厳と権利を深く理解し、現代社会の抱える諸問題に向き合っていける人
3. 幼児教育・社会福祉における専門性と倫理観を身につけて、地域社会において貢献しようとする意欲がある人

に則り、自らの考えを提起できるかを問うものである。

子ども・利用者が晒されるおそれがある「偏見」という問題について、子どもをはじめとしたすべての人と関わる専門職を目指す者として、自らの経験や学修を踏まえて具体的に論述できるか、文章を書く能力と合わせて評価していくことを目的としている。

【採点のポイント】

本題は、障がいのある人びとや外国籍の人びと、貧困状態下にある人びとが直面する「ふつう」（「みんな仲良くしなければならない」「元気が一番」「真面目に働くべきだ」等）という偏見について、幼児教育・社会福祉に携わることが期待される者としていかに向き合うかを問うている。幼児教育・社会福祉に携わる専門職として、その偏見を「第三者」としてどのように捉えうるかという思考だけでなく、自らを「ふつう」という偏見を抱えうる一人の「当事者」として見つめなおし、その偏見をいかに相対化し、社会的な問題として再定義しうるか、内省的に考え論じることが期待されている。

採点にあたっては、本学のアドミッション・ポリシーと整合しているか、また自身の経験や学修を踏まえて具体的な論述ができているかを重視する。

## 【面接】

### [面接の形態]

- ・学科の面接員 2 名が受験生 1 人に対して面接を行う個人面接とする。
- ・面接は口頭試問とする。
- ・受験生 1 人あたりの面接時間は 15 分程度とする。
- ・口頭試問には、活動報告書を元にした 3 分程度のプレゼンテーションを含む。
- ・面接の順序は居住地に基づいて順番を割り当てる。各試験会場の進捗に応じ、順番は前後する可能性がある。

### [質問の内容とねらい]

本学科のアドミッション・ポリシーに照らしつつ、以下の点に関わる質問を行う。

「活動報告書」では、①姿勢・意欲、②明確な学び、③学びによる具体的な展望、④事前準備、「面接」では、①志望動機、②入学後の学習・生活に対する関心・意欲・態度、③幼稚園教諭、保育士、社会福祉士（ソーシャルワーカー）志望者としての資質・能力、④幼児教育や保育、社会福祉の問題に対する関心の度合い、⑤地域社会への貢献に関する意欲を問う。

### [採点のポイント]

上記の①～⑤について質問に対する答え方・態度・的確さ、主張の論理性・一貫性等と併せて総合的に評価する。評価は以下の点を特に重視するので留意すること。

- a) 幼児教育・福祉学科を志望した理由の妥当性
- b) 幼稚園教諭、保育士、社会福祉士(ソーシャルワーカー)養成校の学生として必要な適性
- c) 入学後の学習計画や学生生活に関わる意欲

## 【調査書】

### [採点のポイント]

原則として採点しないが、受験者が同一で並んだ際は学業以外の活動を重視して採点する。